

報告事項 4

黒瀬地区バス交通結節点の供用開始について

令和 8 年 3 月 2 5 日提出

東広島市地域公共交通会議
会 長 塚 井 誠 人

1 報告概要

令和 8 年 3 月 1 4 日から黒瀬地区バス交通結節点を供用開始したので、その概要を報告する。

2 供用開始日

令和 8 年 3 月 1 4 日

3 記念式典

令和 8 年 3 月 2 1 日

添付資料 別紙「資料 5」のとおり

施設整備の経緯

従来のバス系統の中には、1系統あたりの運行距離が長くなり、他の系統と重複する区間を運行しているものがあります。黒瀬地区でも、呉駅から西条駅を結ぶ系統などはこれに該当し、非効率な運行は、採算性を悪化させ、減便といったサービス水準の低下が強いられることで、利用者が減少するという悪循環をもたらします。このような悪循環を回避するため、新たな交通結節点を整備することで、複数系統を再編し、効率的な運行形態を実現することを目的として検討を始めました。

年表

- 平成27年 東広島市総合交通戦略（現：東広島市都市交通計画）の中に整備を位置づけ
- 令和2年 基本設計
- 令和4年 詳細設計
- 令和6年 工事着手
- 令和7年4月1日 待合施設供用開始
- 令和8年3月14日 バスロータリー完成、全面供用開始
- 令和8年3月21日 オープニングセレモニー開催

関係機関

- 実施主体：
東広島市
- 設計・施工：
協同組合建築事業団SOU間
てらお建設株式会社
株式会社橋本

お問い合わせ

- 東広島市 都市交通部
交通政策課
- TEL 082-422-1049

ロゴマーク

地域愛称：のりんさい家



デザイン

黒瀬町の町の花である桜のイラストを上部におき、下の線は黒瀬川をイメージ

愛称

「誰でも気軽にのってほしい」という思いを表現。また、バス、自転車、自動車など様々なモビリティ（乗り物）のハブ（結節）であることを標記

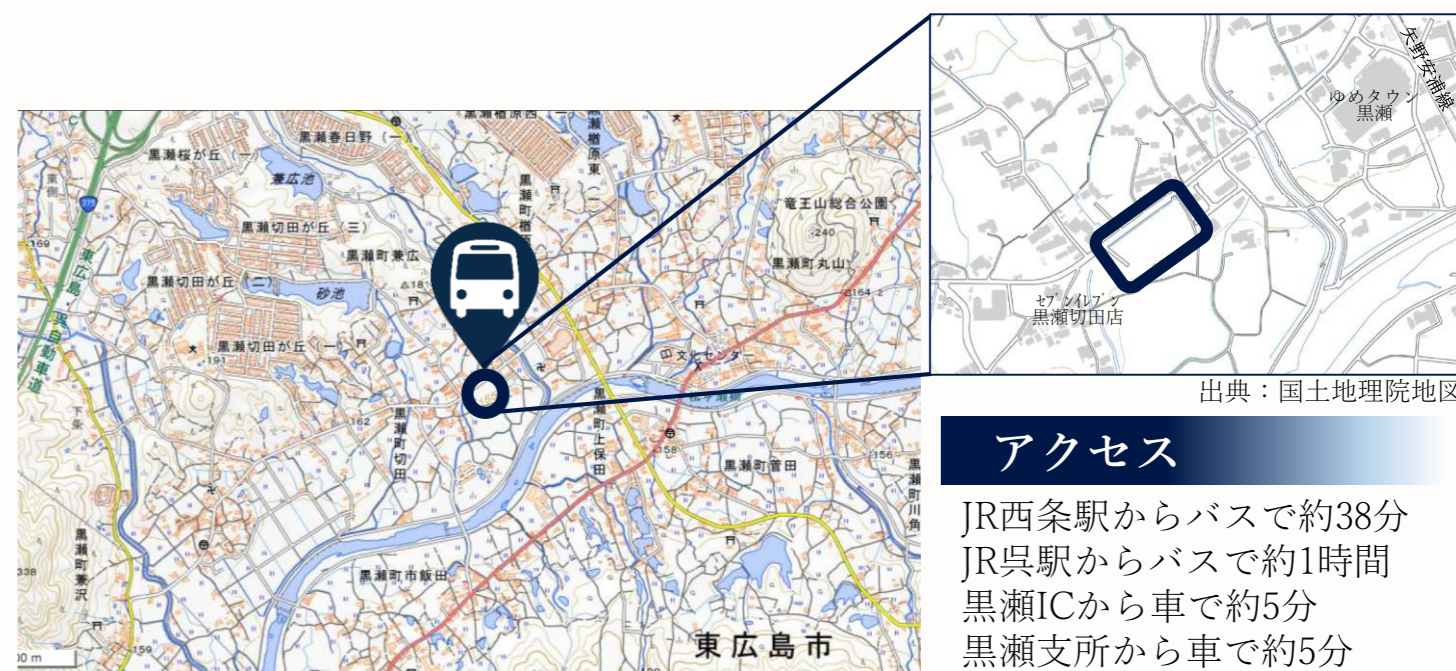
黒瀬地区バス交通結節点

Kurose-Kanehiro Mobility Hub

地域の未来をつくる新たな拠点



オープニングセレモニー 令和8年3月21日（土）



出典：国土地理院地図

アクセス

- JR西条駅からバスで約38分
- JR呉駅からバスで約1時間
- 黒瀬ICから車で約5分
- 黒瀬支所から車で約5分

出典：国土地理院地図

施設の概要

施設の目的

黒瀬地区における公共交通の運行効率の向上と利用者の利便性の向上を目的として整備しました。

多様な交通手段を円滑に連携させることで、移動を「より便利に、より安心に」することを目指しています。

主な特徴

- ・ 方面別バスのりば
- ・ 乗降場所への上屋整備
- ・ P&BR駐車場・駐輪場の整備
- ・ 乗換抵抗の軽減
- ・ 地域に開かれた施設
- ・ 軒下空間の活用可能

基本情報

所在地：黒瀬町兼広156番6

敷地面積：3163.23㎡

施設構成：

バスロータリー

- バスベイ 3箇所（上屋完備）
- バス待機スペース（約4台分）

待合施設

P&BR駐車場

- 21台分（うち身障者用1台）

P&BR駐輪場

- 約50台分

施設紹介

主な設備・機能

- ・ バスのりば
 - 呉方面、西条・国際大学方面、スクールバスのりばなど、方面別に設置
 - 上屋の設置によるバス待ち環境の向上
- ・ 待合施設
 - トイレ、空調・Wi-Fi完備、充電設備の設置
 - バスロケーションシステムによるバス運行情報の案内
 - 軒下空間を活用した物販等、地域活性化に資する取り組みを実施可能
- ・ P&BR駐車場・駐輪場
 - 自家用車や自転車等からバスへの乗換（P&BR：パークアンドバスライド）を実現

路線案内

運行事業者・団体

広島電鉄株式会社
JRバス中国株式会社
黒瀬さくらバス運行協議会 他

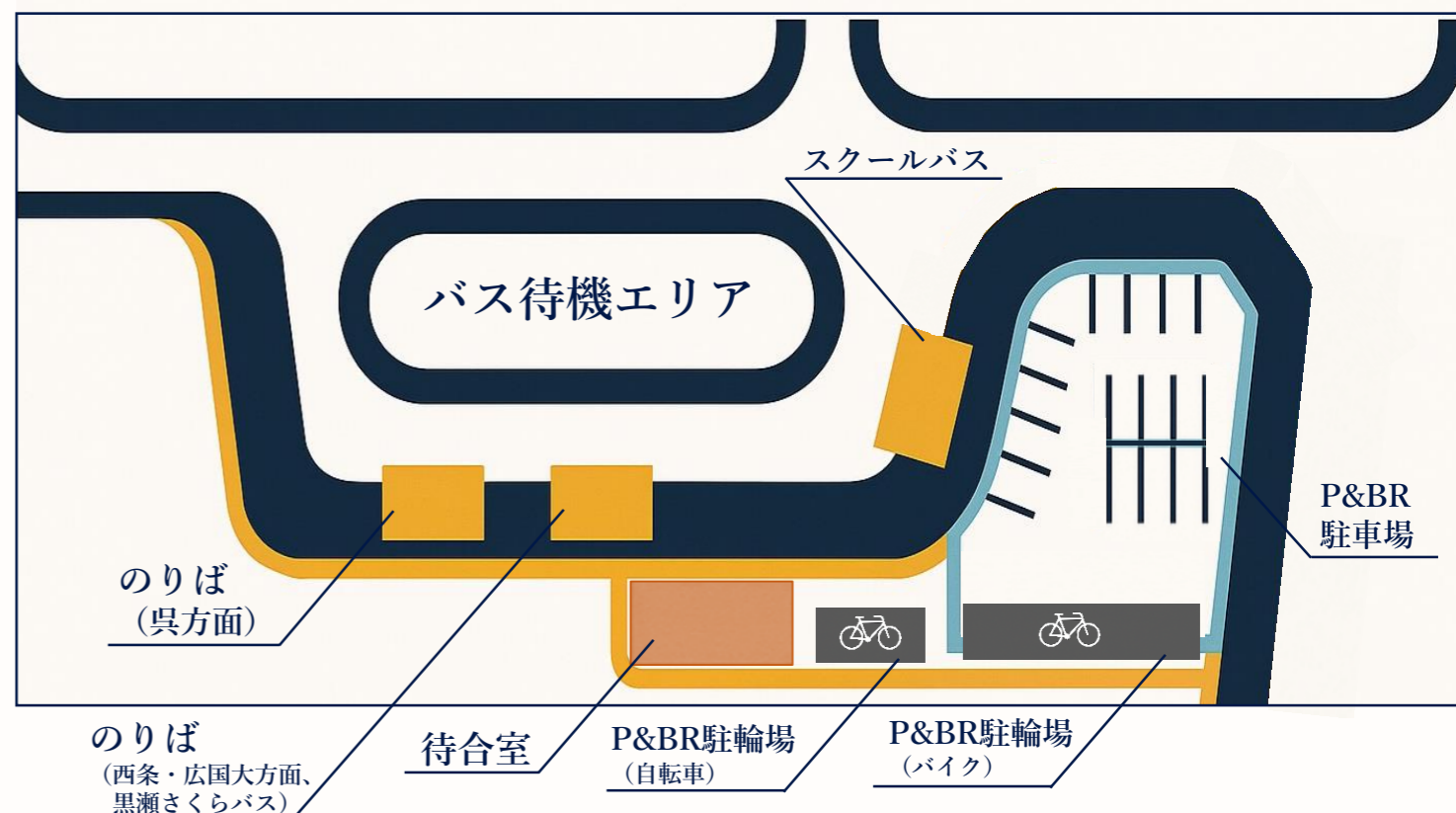
運行路線

郷原黒瀬線
西条線
黒瀬さくらバス
広島国際大学スクールバス 他

平日乗入便数

97～105便/日
※路線バス、生活交通、スクールバス合算

簡易レイアウト図



外観

内観

全景

